

事業活動を行う上で、さまざまな形で環境に負荷を与えています。

ムラタでは、製品のライフサイクル全体を通じて環境への影響を把握するよう努め、環境負荷の低減を目指しています。

インプットの概要

インプットとしては、製品の原材料と生産活動にともなうエネルギー使用量が多くを占めています。ムラタでは、エネルギーを有効に利用するため大規模なコージェネレーションシステムの導入を積極的に推進するなど、使用量削減に向けて全社をあげて取り組んでいます。また、事業特性上、大きな比重を占める化学物質についても、厳格かつ適正な管理を行いながら、使用量の削減に取り組んでいます。

アウトプットの概要

アウトプットとしては、大気中に排出されるCO₂をはじめ、廃棄物の発生、水域への排出などがあります。ムラタでは、すでにゼロエミッション(対象となる廃棄物の埋め立てゼロ、リサイクル率100%)を達成しているため、現在は発生量自体の削減とリサイクルレベルの向上を進めています。

また、ムラタの製品は、お客様の工場で組み立てられる際にも省資源、省エネルギーに貢献できる部分が多いため、今後は製品使用時の環境負荷データの把握を行っていきます。

INPUT

【算出方法】

- ・化学物質
国内事業所・子会社におけるPRTR対象化学物質取扱量
- ・エネルギー
国内・海外の事業所・子会社における電気、燃料の消費量
- ・水
国内・海外の事業所・子会社における水使用量

仕入先(サプライヤー)

仕入先の環境影響度(グリーン度)を独自に調査し、環境に積極的に取り組んでいる企業から優先的に調達しています。

OUTPUT

【算出方法】

- ・化学物質
国内事業所・子会社におけるPRTR対象化学物質の取扱量に、大気や水系への排出割合を乗じて算出
- ・大気排出
CO₂:国内・海外の事業所・子会社におけるエネルギー消費にCO₂換算係数を乗じて算出
NOx、SOx:国内・海外の事業所・子会社の排気口から排出される排ガス中の物質濃度測定結果より算出
- ・廃棄物(処分費用を要するものに限る)
国内・海外の事業所・子会社からの発生量
- ・排水量
国内・海外の事業所・子会社から下水道または河川に排水した量

化学物質取扱量	エネルギー使用量	水使用量
5,662トン	275,812kl (原油換算)	863万m ³
	・電気 86,735万kWh ・燃料 55,839kl	



村田製作所グループ

開発・設計段階から環境への影響を把握し、製品づくりにおける負荷を可能な限り減らすよう取り組んでいます。

お客様

納入後、お客様先での環境負荷を低減できるよう製品づくりを進めています。今後は、製品使用時の環境負荷データの把握を進めていきます。



化学物質排出量	大気排出量	廃棄物発生量	排水量
34.5トン	・CO ₂ 479,514トン-CO ₂ ・NO _x 142.4トン ・SO _x 19.6トン	31,118トン	782万m ³

ムラタでは、CO₂以外の温室効果ガスを排出していません。
(温室効果ガスとは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に定めるものをいう)